

# ヘルシーナ 健康応援ナビ

## NAVI



健康課  
市役所内  
☎23-3515 FAX 23-3810  
あつみライフランド  
☎33-0386 FAX 33-0319

### 「不育症」を知っていますか？

#### 「不育症」は珍しくない

妊娠したにもかかわらず、2回以上の流産もしくは死産の既往がある場合「不育症」と診断されます。日本では、1年間に3万人が発症しているとされています。

妊娠した喜びから一転し、それを



失う悲しみが繰り返される・・・これは当事者本人でなければ分からない、とてもつらいことです。



流産は、妊娠全体の約10〜20%の頻度で起こると言われており、「不育症」は、決して珍しいことではありません。

#### 検査と治療

不育症には、原因(リスク)がわかっていないことも多く、検査でも約65%の人は、はっきりとしたリスクが特定できませんが、リスクが特定されると内服・注射などの治療により80%の方が出産することができています。

#### 相談先と治療への支援

治療には、身体にも心にも、経済的にも時間的にも、非常に大きな負担が伴います。特に働きながら治療を行う場合には、職場全体の理解や支援が必要不可欠です。

県では、専門医師やカウンセラーなどの専門家による相談窓口を設けています。相談は無料です。どうか一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

また田原市では、不育症の一部の検査、治療へ助成を行っています。流産や死産を繰り返す場合は、産婦人科医師にまずご相談ください。

### 愛知県 不妊・不育専門相談センター (名古屋大学医学部付属病院内)

相談ダイヤル(無料) ☎052-741-7830

相談日時:月曜午前10時～午後2時  
木曜午前10時～午後1時  
第3水曜日午後6時～9時  
※年末年始、祝祭日など除く



▲HP

### 田原市不育症治療費等助成制度

内容:15万円(1年度に1回の申請とし、5回まで)  
対象:①～④に該当する方

- ①検査、治療をした時点で市内に住所がある
- ②2回以上の流産もしくは死産の既往があり、妻の年齢が43歳未満
- ③市税を滞納していない
- ④県内の産科、婦人科、産婦人科で抗リン脂質抗体検査、血栓性素因スクリーニング(凝固因子検査)、低用量アスピリン療法、ヘパリン療法を受けた方

※詳しくは、市HPをご覧ください。

※その他、不妊治療への補助制度もあります。▲市HP



「病院では治療法の話はできるけど、気持ちを吐き出せないというか…。少し気持ちが楽になり、次に進む準備ができました。」



〈相談センター利用者の声〉